



品格のあるまち、川越へ

就任後、初めての新年にさいして

川越市長 川合善明

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対しまして、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、川越を舞台としたNHK連続テレビ小説「つばさ」が、3月から9月まで放送されました。川越の知名度も全国的に高まり、観光客もますます増えてきました。連続テレビ小説の舞台として本市が選ばれたのも、先人から受け継ぎ守ってきた歴史や伝統と、そこに住む皆様の活力などが評価されたと考えています。川越の魅力を生かしながら、明るく住みよい品格のあるまちづくりを進めるため、本年も全力を尽くしてまいります。

基本姿勢は、「改革」「公正」「公開」

私は昨年2月8日の市長就任以来、「改革」「公正」「公開」の三つを基本姿勢として市政に取り組んでいます。厳しい財政状況の中で、新たな時代の要請にこたえ、健全で持続可能な市政運営を行うためには、大胆な改革が必要です。これまで、市長・副市長の給与や管理職手当の削減などを実施してきました。引き続き、事業の見直しなどによる財源の確保に努めるとともに、さまざまな行政課題に取り組み組織体制づくりなど、徹底した行財政改革に着手しております。

また、市民の立場に立った公正・公平な市政運営の実現に向けて、タウンミーティングや市民意見箱などを通して、多くの声をお聴きするよう努めています。さらに、市の財政状況などのさまざまな市の情報を、できるだけ分かりやすく、的確に発信するとともに、説明責任を果たせるようにしてまいります。



昨年11月に実施した一番街の交通社会実験



熱回収施設の試運転が始まった資源化センター



元気いっぱい！ 園内で遊ぶ子供たち（名細保育園）

本年の主な取り組み

本年は重点施策として、次の三つを掲げ取り組んでまいります。

第一に「安全で安心な生活の実現」として、新型インフルエンザ対策をはじめ、小中学校の耐震化や、歩道の整備などによる安全安心な道路づくりなどを実施してまいります。

第二に「子育て支援の充実」として、保育所の定員を増員するなどの保育所待機児童対策や、小学生の医療費無料化の段階的实施などに取り組んでまいります。

第三に「地域の特徴を生かしたまちづくり」として、長年の課題である中心市街地の交通対策や、都市基盤整備を進めてまいります。

この外、本年4月に本稼働を予定している川越市資源化センターを活用し、ごみの減量・資源化を促進します。また、秋にオープン予定の川越市産業観光館（鏡山酒造跡地）、昨年イメージが決定したマスコットキャラクターの活用による地域の活性化など、新たな事業にも取り組んでいきます。さらに、社会の急激な変化にも柔軟に対応しつつ、事業の必要性や効果などを十分に検討し、有効な施策を着実に進めてまいります。

厳しい財政状況の中、都市基盤の整備や老朽化した斎場などへの対応を着実に推進するため、都市計画税の税率は現行の0・2パーセントを、平成22年度から二年間は0・25パーセント、同24年度以降は0・3パーセントと、段階的に改定します。景気が低迷している中、ご負担をお願いすることになりますが、将来の世代の負担を可能な限り少なくし、重要な事業を実施するために必要なものです。市民の皆様のご理解をお願いします。

住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまち川越

政権が交代したことにより、国と地方の役割もこれから大きく変わろうとしています。こうした中、中核市として果たすべき役割を見極めながら、自主性と自律性の高い行政運営に努め、川越市のさらなる発展に向けて努力してまいります。

本年も市民の皆様が、「住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまち川越」を実感していただけるよう、まちづくりに全力を注いでいきます。なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。